

福祉教育ニュース

令和6年12月号 ◆ No.67 ◆ 発行 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会

◆編集◆

千葉県ボランティアセンター

〒260-8618

千葉市中央区千葉寺町1208-2

TEL 043(209)8850

FAX 043(312)2886

URL <https://www.chiba-shakyo.jp/volunteer/>



福祉体験学習

視覚障害のある方の暮らしと仕事

～ふれあいトークを開催しました～

誉田東
小学校

ふれあいトークは視覚に障害のある方を講師に招き、「日常生活のこと」や「児童・生徒に考えてもらいたいこと」などについてお話していただく授業プログラムです（詳細はP7参照）。

10月に誉田東小学校の5年生を対象に、ふれあいトークを開催しました。今回は、その授業の内容をご紹介します。

—当日のプログラムについて—

ふれあいトーク 講師：久我 裕介 氏 【千葉県庁職員、アイメイト（盲導犬）使用者】

時間	内 容
20分	A 「視覚障害」の見え方について アイメイト（盲導犬）について
20分	B アイメイト（盲導犬）使用者を 道案内するとき（ロールプレイ）
30分	C 視覚障害のある人と仕事について
20分	D まとめ・質疑応答

アイメイトとは？

アイメイトとは、公益財団法人アイメイト協会出身の盲導犬です。

「アイはI（私）」「アイはEYE（目）」「アイは愛（LOVE）」アイメイトは「私の愛する目の仲間」という意味で、盲導犬に親しみを込めて呼んでいます。

A

「視覚障害」の特徴とアイメイト（盲導犬）について

久我先生は、小学2年生のときに「網膜色素変性症」という目の病気を発症しましたが、25歳までは目が見えていました。その頃、学習塾の先生をしており、生徒達と教科書の文字を読んでいたら崩れて見えたので、周囲を見渡すとある一部分だけにじんで見えていることに気づきました。それから、1週間、2週間と時間が経つにつれて目の前の景色が崩れて見えるようになっていきました。結果、1か月程で目が見えなくなってしまいました。現在は、ぼんやりとした光を感じる程度で、音で周りの様子を想像しているそうです。そのため、コミュニケーションを取る際は、相槌等の声によるリアクションを意識してもらえるととても助かるということです。

目が見えなくなってしまうから5年間は、白杖を使用し町の中を歩いていたそうです。そんなある日、電柱に強く胸をぶつけてしまい怪我をしてしまいました。このことをきっかけに「安全に怪我なく外を歩きたい」と思い、訓練を受けアイメイトと暮らすようになりました。アイメイトと出会ってからは、「風を感じながら楽しく外を歩く感覚」を手に入れたとのことでした。



▲久我先生のお話を真剣に聞く児童たち

盲導犬の仕事は、目の前にある段差や障害物の前で止まって、それを教えることであり、視覚障害者が指示を出さなければ簡単に道に迷ってしまいます。そのため、使用者は頭の中に地図を入れて右や左を覚えていなければなりません。盲導犬を連れている人がキョロキョロしていたら道に迷っている場合が多いので、もし見かけたら勇気を持って声をかけて欲しいとのことでした。また、盲導犬は色が分かりません。信号を渡るタイミングは、エンジン音や足音で使用者が判断しています。盲導犬を連れている人が、信号待ちをしていたら信号の色を教えてもらえると安心して渡ることができるということです。

B

アイメイト(盲導犬)使用者を道案内するとき<ロールプレイ>

盲導犬使用者がキョロキョロしていたり、立ち止まって固まっていたりしたら道に迷い、困っている可能性が高いです。そのような場面で声をかけると、「盲導犬を使って歩けるので、声による道案内をお願いします。」と頼まれることがあります。今回は「声による道案内」についてロールプレイを通じて体験しました。

ーアイメイト（盲導犬）使用者を道案内する方法ー

- ① まず、「何かお手伝いしましょうか」と声をかける。
- ② 立ち位置は、アイメイトの反対側の斜め2～3m後ろに立つ。
(前に立って前向きから話されると聞き取れない)
- ③ 進む方向と大体の距離を伝える。
例：「右に10メートルくらい進みます」
「そろそろ止まります」
「椅子が有ります」
- ④ 方向を教える場合は時計の文字盤に例える。
正面…12時の方向 右…3時の方向 左…9時の方向 など
- ⑤ 終わりのあいさつも重要。
「お気をつけて、さようなら」など声をかけずにいなくなってしまうと、存在に気付くことができないので、必ずあいさつをする。



▲アイメイトは椅子にあごを寄せ、場所を教えてください



視覚障害のある人と仕事について

前述したとおり、久我先生は目が見えていた25歳までは塾の先生をしていました。目が見えない状況では仕事を続けられないと思い、仕事を辞めました。どうしてよいか分からずに、しばらくは家で引きこもっていました。しかし、「このまま簡単にあきらめていいのかな、やっぱり仕事がしたいな」と思ったそうです。そこで久我先生から、児童たちに「目が見えなくなったら、塾の先生として働くうえで困ることはなんでしょう?」「目が見えないのに働きたくなった理由はなぜだと思いますか?」という質問が投げかけられました。



▲先生の質問に元気に挙手する児童たち

「目が見えない」ということについて真剣に考えている様子が印象的でした。

久我先生は、「人の役に立ちたい、目が見えなくとも何か役に立ちたい」「生きがいを持って人生、生き生きと暮らしていきたい」と思うようになりました。そのために、視覚障害者総合支援センターちば^{※1}に通い一人で歩く訓練を受けたり、盲学校で点字を習ったり、音声パソコンの使用方法を学んだりしました。

こうした努力を経て、千葉県庁で公務員として働くことになりました。勤務先では、障害のある方への就労や、障害のある方を雇用する会社を支援する仕事をしています。現在は、主に音声パソコンを使用し勤務をしています。紙の資料は周囲の人に読んでもらうこともあるそうです。また、音声データを元に議事録を作成することもあるそうです。目に見えないことでできなくなると考えられることは、ちょっとした工夫や便利な道具、周囲の協力によって、「できる」に変えられるのです。

※1 視覚障害者総合支援センターちば…2003年（平成15年）4月、千葉点字図書館（用具販売を含む）、千葉点字出版所、生活支援事業（生活訓練）が統合して発足した視覚障害者情報提供施設です。2004年（平成16年）からIT支援事業を開始、視覚に障害のある方を総合的に支援しています。

もし、町の中で仕事中的アイメイト（盲導犬）と出会ったら・・・

「声をかけない」…………… 仕事中に気が散ってしまうので、静かに見守る。

話しかける場合は、視覚障害者本人に対して行う。

「触らない」…………… 犬は人間が大好きなので、嬉しくなってしまう仕事に集中できない。

「食べ物あげない」… 決まった時間に、決まったドッグフードを食べている。

D

質疑応答について ～率直な疑問を久我先生に聞いてみました！～



Aさん

夜は盲導犬と一緒に寝ているのですか？

目が見えているときに飼っていた犬とは同じベッドで寝ていましたが(笑)、盲導犬とは一緒に寝ません。

なぜなら、人間と同じベッドで寝てしまうと、それが癖になってしまうからです。外出先のホテル等ではベッドで寝かせるわけにはいきません。

ですが、夜、近くに盲導犬がいないと困ってしまいますので、同じ寝室で、すぐそばで寝ています。



久我先生



Bさん

盲導犬を連れて歩くために必要な訓練とはなんですか？

アイメイト協会では盲導犬の使い方を学ぶための1カ月間の合宿訓練があります。Aコース、Bコース、Cコースといったように、だんだん訓練のレベルが上がっていきます。例えば、左右に曲がる初歩的なことだったり、デパートの中を1人で歩いたりします。そうした訓練を経て自動車免許のように最終試験で合格すれば、合格書をもらうことができ、盲導犬と暮らすことができるようになります。



久我先生



Cさん

久我先生にとって盲導犬とはどのような存在ですか？

「一心同体な存在」です。私の目の代わりとなっていて、本当に助かっています。先ほど盲導犬は椅子を探してくれるとお伝えしましたが、実はドアノブも探して教えてくれるのです。なので「切っても切れない体の一部」という感じです。



久我先生

久我先生からのメッセージ

～障害があっても工夫と周囲のちょっとした手助けで働けるようになる～

私は25歳まで皆さんと同じように目が見えていて、仕事もしていました。見えなくなって不便であるけど、不幸ではありません。なぜなら、仕事をしてお給料をもらい自分の力で生活している、誰かの役に立っているという実感が今の生きがいです。将来、皆さんも障害のある方と一緒に働くことがあるかもしれません。そのときは、今回、学んだり考えたりしたことをぜひ思い出してください。障害があっても色々な道具を使って工夫をし、周りのちょっとした手助けがあれば働くことができるのです。



▲水たまりを避けて歩くアイメイト

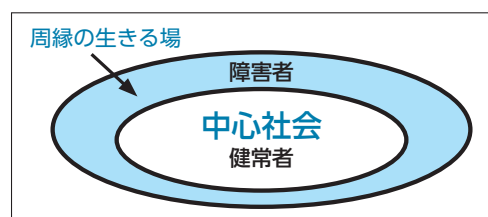
“共に生きる力”は“共に学び合う体験”から ～共生社会を見据えた福祉教育の理解とヒント～

千葉市社会福祉協議会では、千葉市教育センターと共催で、例年夏休み期間中に、市内の小学校・中学校・特別支援学校の教員を対象とした「福祉教育講座」を開催しています。今回は、「共に生きる力」は“共に学び合う体験”から～共生社会を見据えた福祉教育の理解とヒント～」をテーマに講座を開催しましたので、その内容の一部をご紹介します。

講 師	淑徳大学総合福祉学部教育福祉学科 教授 池畑 美恵子 氏
内 容	Ⅰ 福祉とは Ⅱ 共生社会への道のりと現状 Ⅲ インクルーシブを巡る大きな議論 Ⅳ 福祉教育の理解とポイント

福祉とは ～地域共生社会に向けて～

福祉の意味はとてもシンプルであり、「福」も「祉」もどちらも幸せという意味です。つまり人間がより良く幸せに生きていくための仕組みづくりと読みとれます。さらに「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」の頭文字をもじって「ふくし」と置き換え、児童・生徒に教えることもできます。この「ふだん」というワードには、「ノーマライゼーション」という理念が含まれています。この概念は1950年代のデンマークに遡りますが、「ノーマルで暮らすことは当たり前の権利」だという運動が起こりました。この考え方は福祉教育を指導する際に頭の中に入れておかなければなりません。



資料1 「排除と包摂の入れ子構造」

また、日本の福祉は「排除」と「包摂」も両方が入れ子構造状態になっています(資料1を参照)。中心社会には健全者が存在し、周縁社会に障害者が存在しているのが現状です。そこで、障害者が中心社会で生活時間を共にできるように「合理的配慮」を国で定めており、障害者が仕事をしたり、買い物や旅行をしたりと、中心社会で生活できる施策が行われています。

インクルーシブ教育について ～日本の教育の現状～

2022年9月国際障害者権利委員会において、日本は「障害児を分離した特別支援教育」が永続しており、「障害者権利条約」を守られていないと中止勧告を受けました。理由は次の3点で、①医療(IQ)に基づく査定を通じた障害のある子どもの分離された教育が永続されている。②特に知的障害者等、より集中的な支援を要する子どもが通常環境での教育にアクセスできなくなっている。③「支援学級に在籍する子どもが過半数以上を通常学級で授業を受けるのは不適切とみなす(2022年4月「特別学級に関する政府の通知」)の撤回が挙げられます。

国連と日本の「インクルーシブ教育」の捉え方が根本的に異なっていたことが、中止勧告につながったと考えられます。

国連と日本のインクルーシブ教育の捉え方の違い

【国連の捉え方】

- ・ 障害の有無にかかわらず **「同じクラスで学ぶこと」**
- ・ そもそも人間は多様であり、地域社会とは様々な市民が共生する場、学校は原体験となる場でなければならない
(海外では奴隷制度の廃止の是非を問うレベルの問題とみなされるらしい)

【日本の捉え方】

- ・ 障害のある方と障害のない方が共に学ぶ仕組みとしつつも…
- ・ 個別教育的ニーズがる子どもには、自立と社会参加を見据えて、**その時点で教育的ニーズに最も答える指導を提供できる多様で柔軟な仕組み**の整備をし
- ・ 通常学級、通級、支援学級、支援学校といった**連続性のある「多様な学びの場」**を用意しておくことが必要である

福祉教育の理解とポイント ～地域共生社会を見据えて～

福祉教育を児童・生徒に教える際に押さえておきたいポイントは以下のとおりです。

①福祉の入り口を広げる

社会的弱者への支援（welfare）というような狭い福祉感で捉えるのではなく、「誰もがどのような状況であれ、より良く生きる（well-being）」といった視点で福祉の入り口を広げてみましょう。

具体的には、「福祉教育＝障害者やお年寄りを助ける」といった入り口に結びつけるのではなく、「違いを持つ**私たちが**共に生きる力を育む」というように「**私たち**」という主語で始めてみましょう。同じクラス、同じ学校の中でも1人1人個性は違ってきます。そうした異なる個性に触れることが大切となります。

【池畑先生の福祉教育おすすめ教材】

「セサミストリート」がおすすめです。本作品中には「ジュリアちゃん」という自閉症のキャラクターが登場してきます。自閉症の特徴を上手く解説しており、その自閉症の対処方法を教えるのではなく、「この子とはこういった風に遊ぶと楽しいよ」というように、違いを楽しむように表現されており、非常に分かりやすい作品となっています。異なる個性に触れる入り口におすすめです。



引用元：
YouTube動画
「セサミストリート
ジュリアの紹介動画
【日本語吹替版】」

②見えにくい障害を理解する

車椅子体験や白杖体験は、見た目で分かりますが、精神障害や知的障害、発達障害等は目には見えません。そうした方々がつけている「ヘルプマーク」はなぜ存在し、つける必要があるのかを考えることから入ると良いと思います。精神障害は、若年層の発症率が高い疾病もたくさんあります。つまり、児童・生徒が近い将来、自分も発症する可能性があるということを知れば、他人事ではなくとして考えることもできます。しかし、偏見につながってしまう可能性があるため授業の案としては、「自分だったらどんな時に助けて欲しいか。どんな配慮をしてほしいか」など障害者の側ではなく、まずは、自分が助けられ上手を目指す授業も十分に効果があると思います。



▲ストラップ型ヘルプマーク
引用：（千葉市保健福祉局）
※実物は赤色

③共に学び合う学校づくり、クラスづくり

現在、淑徳大学で特別支援学校を志望する大学生の多くが、小・中学校時代の特別支援学級の子どもののかかわりを良く覚えています。特に一番多いのは、「もっと障害について教えてほしかった」という意見です。また、大学生の意見の多くは学校生活上の体験から湧いてきています。教えられて何かを覚えるのではなく、障害のある子との共に生活すると当たり前にてくる「疑問や不満、発見や共感」すべてが学びになります。したがって、障害者だからといって配慮・対応と一辺倒になりすぎず、共に学ぶ体験が重要です。地域共生社会に向けた福祉教育のスタートラインとしては、「子どもたちが子どもたちと一緒に考える合理的配慮」がひとつのヒントになると思います。そのためには、①や②を入り口とした、異なる個性に触れ合う時間を大切にすることが重要です。

参考文献

原田正樹『共に生きること共に学びあうこと－福祉教育が大切にしてきたメッセージ』大学図書出版、2009。
上野谷加代子・原田正樹『新福祉教育実践ハンドブック』全国社会福祉協議会、2014。

～担当者から～

現在、学校の中には、発達に問題がある児童・生徒だけでなく、外国人国籍やLGBTの問題を抱えている児童・生徒もいると思います。また、地域の中には高齢者の方や認知症といった方がいます。そうした方々の当たり前を知り、分離しない福祉教育が大切だということを本研修で学ぶことができました。

福祉教育について、何かが不明点等ありましたら各区ボランティアセンターまでご連絡ください。ともに福祉教育プログラムを考えていきましょう。

◆千葉市社会福祉協議会「福祉教育支援事業」のご案内◆

本会では、学校での福祉教育・ボランティア学習を推進するため、福祉教育支援事業を実施しています。計画の参考にいただければ幸いです。

★「ふれあいトーク」

「ふれあいトーク」は、視覚障害のある方が学校に向き、「日常生活のこと」や「児童・生徒に考えてもらいたいこと」などについてお話しするプログラムです。

実施を希望される場合は、学校所在区のボランティアセンターに、ご連絡ください。



※ふれあいトーク講師の送迎については、本会で行います。

※お申し込みの際には、開催希望日の1か月前（講師によっては2か月前）を目安として、候補日を複数お伝えください。

※講師の都合によっては、ご期待に沿えない場合もございます。あらかじめ、ご了承ください。

★「福祉体験用具の貸出し」

市及び各区ボランティアセンターでは、福祉教育・ボランティア学習を支援するため、さまざまな福祉体験用具の貸出しを行っています。ご利用いただくには、予約が必要です。各ボランティアセンターまでお問い合わせください。

【令和6年12月1日現在】

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑 区	美浜区	市VC
高齢者疑似体験セット〔シニアポーズ〕		12	12	12	12	12	12
車椅子〔自走式〕	4	11	10	10	10	10	15
体験用点字ブロックセット		1	1	1		1	1
白杖〔折りたたみ式〕		50	50	50	40	60	40
〔直杖〕							35
点字器・点字マニュアルセット〔通常サイズ〕		70	70	70	70	70	100
点字器・点字マニュアルセット〔小型サイズ〕							50
視覚障害体験プレートセット		5	5	5	5	5	
視覚障害体験ボードセット							5
マグネットオセロ		7	7	7	7	7	6
点字トランプ		7	7	7	7	7	7
音声電卓		4	7	7	4	7	6
鈴入りサッカーボール		7	7	7	7	7	7
妊婦疑似体験教材		1		2		2	2

※中央区ボランティアセンターは、車椅子のみの貸出しです。また、駐車場は有料となっておりますのでご注意ください。

福祉教育・ボランティア学習の相談窓口

★区ボランティアセンターは、千葉市社会福祉協議会区事務所が運営しています。

中央区ボランティアセンター



〒260-8511 千葉市中央区中央4-5-1 (Qiball〔きぼー〕15階)
TEL 043-221-2177 FAX 043-221-6077

花見川区ボランティアセンター



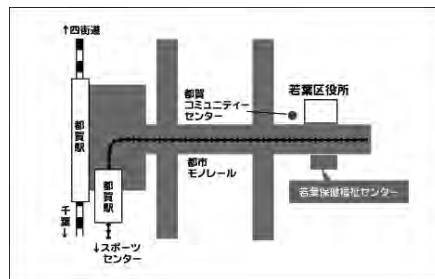
〒262-8510 千葉市花見川区瑞穂1-1 (花見川保健福祉センター3階)
TEL 043-275-6438 FAX 043-299-1274

稲毛区ボランティアセンター



〒263-8550 千葉市稲毛区穴川4-12-4 (稲毛保健福祉センター3階)
TEL 043-284-6160 FAX 043-290-8318

若葉区ボランティアセンター



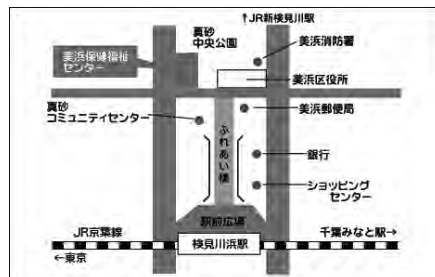
〒264-8550 千葉市若葉区貝塚2-19-1 (若葉保健福祉センター3階)
TEL 043-233-8181 FAX 043-233-8171

緑区ボランティアセンター



〒266-8550 千葉市緑区鎌取町226-1 (緑保健福祉センター2階)
TEL 043-292-8185 FAX 043-293-8284

美浜区ボランティアセンター



〒261-8581 千葉市美浜区真砂5-15-2 (美浜保健福祉センター2階)
TEL 043-278-3252 FAX 043-278-5775

OPEN 月曜日～金曜日 8:30～17:30 第2日曜日 9:00～17:00
(いずれも祝日、日曜祝日の翌月曜日、年末年始を除く)

千葉市ボランティアセンター

〒260-8618 千葉市中央区千葉寺町1208-2
千葉市ハーモニープラザB棟3階
TEL 043-209-8850 FAX 043-312-2886

OPEN 火曜日～土曜日 8:30～17:30
(祝日、月曜祝日の翌火曜日、年末年始を除く)

※区ボランティアセンターとは開館日が異なりますのでご注意ください。

